

全島展開を目指して

ヤマネコを知る・学ぶ

①ヤマネコ教室（島内全体）

対馬野生生物保護センターでは、学校や地域からの要請に応じて、室内外で学べるヤマネコ教室を開催しています。



田んぼの生き物調査



骨格標本を用いたレクチャー



センター展示物の説明

②ニュースレターの発行（舟志区・佐護区・島内全体）

「とらやまの森」、「舟志げんき新聞」、「佐護ヤマネコ稻作通信」など、ツシマヤマネコと共生する地域社会づくりに関する様々な情報を発信し、より多くの人に興味を持ってもらえるよう、写真やイラストなどによる親しみやすいニュースレターをそれぞれの地区や施設で発行しています。



季刊誌「とらやまの森」
対馬野生生物保護センター発行



「舟志げんき新聞」
対馬野生生物保護センター発行



「佐護ヤマネコ稻作通信」
佐護ヤマネコ稻作研究会発行



③名前やビジュアルでツシマヤマネコのPR（島内全体）

より多くの人がツシマヤマネコに親しみ、愛着を感じてもらえるよう、行政、民間など、様々な主体がツシマヤマネコの名前を活用したり、イラスト化して、ツシマヤマネコの保全をPRしています。



ご当地ナンバープレート（バイク用）
(提供：対馬市)



対馬やまねこ空港



ゆるキャラ「つにゃんやん」
(提供：(一社)対馬観光物産協会)

ヤマネコを危険から守る

④道路の交通事故対策 (島内全体)

ツシマヤマネコの死因の中で最も多い原因のひとつが交通事故です。そのため、ヤマネコゾーンの設置やカルバートへのネコ走りの設置などの道路構造上の対策、ドライバーへの呼びかけなどを実施しています。



交通事故警戒標識の設置



交通事故防止キャンペーン



ヤマネコに優しい道づくり

⑤イエネコの感染症対策 (島内全体)

飼いネコから病気などが感染しないよう、避妊去勢やワクチン接種、捨てネコ防止などの飼いネコの適正飼養やFIV、FeLVに感染したネコの一時収容やワクチン接種などを行っています。



ノラネコの不妊処置化のための捕獲

⑥トラバサミ対策 (島内全体)

鶏小屋被害の野生動物被害対策のためトラバサミが設置されてきましたが、トラバサミ捕獲による方法は根本的解決にならないことから使用を禁止し、野生動物が入れない鶏小屋づくりの普及啓発、販売の自粛やトラバサミの回収などを進めています。



トラバサミ

⑦イヌ対策 (島内全体)

ツシマヤマネコがイヌに襲われて命を落としている事例があり、ノライヌの捕獲や、放し飼いなど適切に管理されていないイヌについては普及啓発により適切な管理をすることなどを進めています。



夜間に移動するノライヌ